

一般文化無償「カンボジア工科大学地圏資源・地質工学部教育機材整備計画」 「カンボジア工科大学教育能力向上プロジェクト」の機材供与式典

10月31日(木) プノンペン都内にあるカンボジア工科大学において、我が国の一般文化無償資金協力の「カンボジア工科大学地圏資源・地質工学部教育機材整備計画」及び「ICA技術協力プロジェクト」の「カンボジア工科大学教育能力向上プロジェクト」に関する機材供与式典が開催されました。

これらの事業は、カンボジア工科大学の3学科(電気エネルギー学科、産業機械学科、地球資源・地質工学科)を対象に教育用実験・実習機材の供与を行い、カンボジアにおける電気、機械、地球資源の分野における人材育成とこれらの分野における日カンボジア協力関係を促進するものです。



式典の様子

同式典にはハン・チュンナロン教育・青少年・スポーツ大臣、オム・ロムニーカンボジア工科大学学長、教員、学生などが出席しました。

式典では隈丸大使から、「日カンボジア友好60周年の本年に本式典が開催されたことを心よりうれしく思う。本事業は、カンボジアの理系人材を育成するものであり、カンボジアの今後の発展のためには天然資源分野を含む科学技術分野の人材育成は急務の課題である。カンボジア工科大学の今後の発展と、学生の今後の研鑽を祈願する。」と述べました。

これに対し、ハン・チュンナロン教育・青少年・スポーツ大臣は、「これまでの日本の多大な支援にカンボジアを代表して感謝申し上げる。高等教育や職業訓練のさらなる向上については、カンボジアにおける教育分野と労働市場のミスマッチを解消する方策として重要である。日本の援助では、教育分野の援助を継続的に行っていただいており、高く評価するとともに、日本国政府及び日本国民に感謝の意を表する。」と述べました。

最後に、ハン・チュンナロン教育・青少年・スポーツ大臣及び大使より、供与機材が設置された校舎の前でリボンカットが行われました。



式典に参加した本使及び大臣



リボンカットの様子